



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年11月2日

上場会社名 佐藤食品工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2814 URL <http://www.sato-foods.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 佐藤 仁一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 上田 正博 (TEL) 0568-77-7316
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月9日 配当支払開始予定日 平成30年12月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	3,322	3.8	516	3.2	557	1.7	382	△4.5
30年3月期第2四半期	3,200	6.3	500	△4.9	547	△2.1	400	3.2
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
31年3月期第2四半期	61.21		60.82					
30年3月期第2四半期	64.09		63.74					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	18,055	15,866	87.7
30年3月期	17,885	15,557	86.8

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 15,833百万円 30年3月期 15,532百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
31年3月期	—	15.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	5.4	1,140	△2.2	1,213	△2.8	859	△10.0	137.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「(4) 四半期財務諸表に関する注意事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

31年3月期2Q	9,326,460株	30年3月期	9,326,460株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

31年3月期2Q	3,079,942株	30年3月期	3,079,944株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

31年3月期2Q	6,246,511株	30年3月期2Q	6,246,574株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9
(追加情報)	9
3. その他	10
生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、企業収益の改善や設備投資の拡大が見られるなど、緩やかな回復基調が続きましたが、通商政策を巡る米中の対立が継続しており、先行きが不透明な状況で推移しました。

このような状況のもと、当社の当第2四半期累計期間における売上実績は、茶エキスにつきましては、ほうじ茶エキス・紅茶エキス・麦茶エキス等が増加したものの、緑茶エキス等が減少したため、売上高は1,668百万円(対前年同四半期比0.6%減)となりました。

粉末天然調味料につきましては、粉末椎茸・粉末昆布等が減少したものの、粉末鰹節等が増加したため、売上高は875百万円(同5.5%増)となりました。

液体天然調味料につきましては、椎茸エキス等が増加したものの、鰹節エキス・昆布エキス等が減少したため、売上高は348百万円(同0.2%減)となりました。

植物エキスにつきましては、果実エキス等が増加したため、売上高は362百万円(同24.4%増)となりました。

粉末酒につきましては、梅酒タイプ・ラムタイプ等が増加したため、売上高は64百万円(同30.7%増)となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は3,322百万円(同3.8%増)となり、前年同四半期に比べ121百万円増加しました。

損益面につきましては、売上高の増加により営業利益は516百万円(同3.2%増)、経常利益は557百万円(同1.7%増)となりました。また、法人税等190百万円(同2.8%増)を計上したため、四半期純利益は382百万円(同4.5%減)となりました。

なお、当社は食品加工事業の単一セグメントであるため、セグメント情報は記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における資産合計は18,055百万円となり、前事業年度末に比べ169百万円増加しました。

流動資産については9,478百万円となり、前事業年度末に比べ138百万円増加しました。主に、売上債権が25百万円減少したものの、たな卸資産が110百万円、現金及び預金が28百万円、それぞれ増加したことによります。

固定資産については8,576百万円となり、前事業年度末に比べ31百万円増加しました。主に、投資有価証券が18百万円増加したことによります。

負債合計は2,188百万円となり、前事業年度末に比べ139百万円減少しました。

流動負債については1,971百万円となり、前事業年度末に比べ143百万円減少しました。主に、仕入債務が104百万円、未払法人税等が66百万円、それぞれ減少したことによります。

固定負債については216百万円となり、前事業年度末に比べ4百万円増加しました。主に、繰延税金負債が4百万円増加したことによります。

純資産合計は15,866百万円となり、前事業年度末に比べ309百万円増加しました。主に、配当金の支出により93百万円減少したものの、四半期純利益382百万円を計上し、その他有価証券評価差額金が12百万円増加したことによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ28百万円増加し、6,350百万円となりました。

なお、当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動による資金の増加は、359百万円(前年同四半期は579百万円の増加)となりました。これは主に、税引前四半期純利益573百万円及び、法人税等の支払額254百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動による資金の減少は、206百万円(前年同四半期は0百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出192百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動による資金の減少は、123百万円(前年同四半期は93百万円の減少)となりました。これは主に、配当金の支払額93百万円、短期借入金の返済による支出30百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の業績予想につきましては、平成30年5月11日に公表いたしました平成31年3月期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,321,583	6,350,545
受取手形及び売掛金	1,538,215	1,513,053
製品	678,687	765,983
仕掛品	380,004	398,068
原材料及び貯蔵品	387,599	393,236
その他	34,294	57,540
貸倒引当金	△154	—
流動資産合計	9,340,231	9,478,428
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,765,476	1,740,746
機械及び装置(純額)	1,229,046	1,159,867
土地	2,468,073	2,558,304
建設仮勘定	8,492	6,014
その他(純額)	106,429	114,048
有形固定資産合計	5,577,518	5,578,981
無形固定資産	18,352	15,965
投資その他の資産		
投資有価証券	2,726,689	2,745,684
破産更生債権等	1,443,567	1,443,155
その他	222,500	236,020
貸倒引当金	△1,443,567	△1,443,155
投資その他の資産合計	2,949,190	2,981,704
固定資産合計	8,545,061	8,576,650
資産合計	17,885,293	18,055,079

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年 3 月31日)	当第 2 四半期会計期間 (平成30年 9 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	621,479	516,674
短期借入金	750,000	720,000
未払金	139,611	152,310
未払法人税等	281,518	214,996
賞与引当金	120,000	136,000
設備関係支払手形	1,432	1,783
その他	201,100	229,702
流動負債合計	2,115,143	1,971,467
固定負債		
役員退職慰労引当金	24,340	24,340
繰延税金負債	132,382	136,792
資産除去債務	55,576	55,612
固定負債合計	212,298	216,744
負債合計	2,327,441	2,188,212
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,672,275	3,672,275
資本剰余金	4,444,793	4,444,803
利益剰余金	10,424,770	10,713,439
自己株式	△3,429,384	△3,429,394
株主資本合計	15,112,454	15,401,123
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	420,212	432,649
評価・換算差額等合計	420,212	432,649
新株予約権	25,184	33,093
純資産合計	15,557,851	15,866,866
負債純資産合計	17,885,293	18,055,079

(2) 四半期損益計算書

第 2 四半期累計期間

(単位：千円)

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成29年 4 月 1 日 至 平成29年 9 月30日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成30年 4 月 1 日 至 平成30年 9 月30日)
売上高	3,200,656	3,322,040
売上原価	2,269,981	2,354,456
売上総利益	930,675	967,584
販売費及び一般管理費	430,117	451,242
営業利益	500,558	516,341
営業外収益		
受取利息	600	595
受取配当金	41,007	38,111
貸倒引当金戻入額	1,132	566
その他	6,677	3,675
営業外収益合計	49,418	42,949
営業外費用		
支払利息	2,383	1,959
その他	1	164
営業外費用合計	2,385	2,124
経常利益	547,591	557,165
特別利益		
受取損害賠償金	2,647	—
投資有価証券売却益	36,149	1,372
受取保険金	—	15,762
特別利益合計	38,796	17,134
特別損失		
固定資産除却損	382	1,040
特別損失合計	382	1,040
税引前四半期純利益	586,005	573,259
法人税等	185,645	190,893
四半期純利益	400,360	382,366

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成29年 4 月 1 日 至 平成29年 9 月 30 日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成30年 4 月 1 日 至 平成30年 9 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	586,005	573,259
減価償却費	209,333	212,908
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,132	△566
賞与引当金の増減額 (△は減少)	20,500	16,000
保険解約損益 (△は益)	△81	—
受取利息及び受取配当金	△41,608	△38,707
支払利息	2,383	1,959
有形固定資産除却損	382	1,040
投資有価証券売却損益 (△は益)	△36,149	△1,372
受取保険金	—	△15,828
売上債権の増減額 (△は増加)	△423,306	25,162
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△13,600	△111,817
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△38,797	△23,231
仕入債務の増減額 (△は減少)	199,507	△105,183
未払金の増減額 (△は減少)	20,504	△6,048
未払費用の増減額 (△は減少)	17,087	5,400
未払消費税等の増減額 (△は減少)	24,204	21,898
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	1,175	412
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	1,290	△1,323
受取損害賠償金	△2,647	—
その他	8,187	7,909
小計	533,238	561,872
利息及び配当金の受取額	41,607	38,700
保険金の受取額	—	15,828
利息の支払額	△2,385	△1,971
法人税等の支払額	△14,388	△254,785
法人税等の還付額	20,935	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	579,007	359,645

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△44,480	△192,703
無形固定資産の取得による支出	△444	—
投資有価証券の取得による支出	△4,542	△4,735
投資有価証券の売却による収入	56,321	3,589
長期前払費用の取得による支出	—	△1,628
その他の支出	△11,635	△12,087
その他の収入	3,929	196
その他	308	370
投資活動によるキャッシュ・フロー	△543	△206,998
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	—	△30,000
自己株式の取得による支出	△99	△25
自己株式の売却による収入	—	25
配当金の支払額	△93,797	△93,685
財務活動によるキャッシュ・フロー	△93,896	△123,684
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	484,566	28,962
現金及び現金同等物の期首残高	5,246,658	6,321,583
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,731,225	6,350,545

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報等)

当社の事業セグメントは、食品加工事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

3. その他

生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第2四半期累計期間における生産実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
茶エキス	1,768,806	4.3
粉末天然調味料	852,300	2.8
液体天然調味料	348,844	△5.3
植物エキス	389,995	44.1
粉末酒	63,345	13.3
合計	3,423,291	6.3

- (注) 1. 金額は、販売価格によっております。
2. 金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当社は、見込み生産を行っているため、該当事項はありません。

③販売実績

当第2四半期累計期間における販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
茶エキス	1,668,105	△0.6
粉末天然調味料	875,693	5.5
液体天然調味料	348,615	△0.2
植物エキス	362,000	24.4
粉末酒	64,231	30.7
その他	3,394	△7.8
合計	3,322,040	3.8

- (注) 1. 金額には、消費税等は含まれておりません。
2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
(株)伊藤園	591,636	18.5	557,407	16.8
MCフード スペシャリティーズ(株)	367,789	11.5	341,543	10.3